

2022年参議院選挙闘争推進 NEWS

全労連参議院選挙闘争本部 2022年6月2日 No.2

参院選 8 項目要求とケア労働者の大幅賃上げの実現を 社会民主党と立憲民主党に要請

全労連は6月1日、「2022年参議院選挙での私たちの要求実現と野党共闘の強化を求める要請」と「ケア労働者の大幅賃上げを求める要請」の2つの要請書（別添）にもとづいて、社会民主党と立憲民主党との懇談を行いました。

「ケア労働者をど真ん中に」福島党首と要請懇談



社会民主党への要請は、小畑雅子議長と川村好伸副議長の2人で行い、福島みずほ党首と中島修常任幹事ほかが対応しました。小畑議長が2つ要請書を手交し、「参議院選挙にあたって、労働組合として実現を求める要求を大きく8項目にまとめた。選挙公約や政策にぜひ反映いただきたい」、「ケア労働者の処遇改善事業は、賃上げ額が一ケタ足りない上に、例えば看護師では対象が一部に限られるなど全く不十分。10月には根本的に見直す必要がある」と全労連の要求政策をもとに要請しました。また、最低賃金については、最低生計費試算調査の一覧表を示して「全国どこでも時間給1500円から1600円が必要」と全国一律1500円を求めました。

福島党首は、「最低賃金は全国一律で1500円を公約としている」、「消費税は3年間の時限的ゼロを掲げているが、総選挙では5%減税で足並みをそろえた」と話し、「ケア労働者をど真ん中に据えることが必要。実質賃金下がっており、制度や法改正も大事だが、労働組合頑張れと言いたい」とエールを表明しました。短時間の要請でしたが、全労連の要求に共感を示し、「戦争させない」「9条改憲させない」など多岐にわたって懇談は盛り上がりました。

立憲民主党に全労連要求の反映と野党共闘の強化を要請

立憲民主党への要請は、黒澤幸一事務局長と川村好伸副議長の2人で行い、企業・団体交流委員会の永田雄之部長が対応しました。黒澤事務局長が2つ要請書を手交し、「昨年の総選挙の際にも全労連の要求を要請したが、あらためて参議院選挙にむけての8項目の要求政策を取りまとめた」として、公約への反映を求めました。また、ケア労働者の大幅賃上げにかかわっても現場の声に応えた改善とするよう求めるとともに、全労連が掲げる最低賃金1500円について、全国でとりくんだ最低生計費調査の一覧を示して全国一律での実現を求めました。

永田部長は、「岸田首相はリベラルのポーズをとっているが、新しい資本主義の内容はひどい」と述べ、「要請の内容は政策担当に伝える」と答えました。

